



## ロータリーに活力を— あなたの活力を

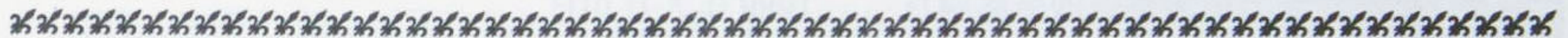
### PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988～89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ●第256地区ガバナー 榎内悌三郎
- 会長—杉野 奎司 ●副会長—小林 英雄 ●幹事—長谷川有美
- SAA—榎本 勝、近藤 雄介 ●例会日—毎週水曜日 12:30～
- 例会場—三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局—三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替えます)

- クラブ会報委員—伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉、渋谷 正一



出席会員数	会員 72名中 52名
先々週出席率	92.96% (前年同期 93.55%)
今日のお花	カーネーション
ヴィジター	三条南より 馬場信彦君、宮原正徳君、丸田肇一君、池田敏雄君、 三条北より 高橋彰雄君 分水より 原 栄一君
先週のメイクアップ	2/16 新潟西へ 渋谷健一君 2/16 加茂へ 藤村義彦君 2/17 吉田へ 外山一郎君 2/20 三条南へ 銅冶 倫君、高森昭光君、古沢富雄君、 濱 潔君 2/21 三条北へ 伊藤廣一君、杉野奎司君、渡辺惣吉君、 近藤雄介君、堀川政雄君

会長挨拶 小林(英)副会長

杉野会長が出張中ですので、代って挨拶申し上げます。

明日2月23日は、ロータリー創立記念日でございます。ロータリーの誕生は、84年前の1905年です。昭和天皇のお生まれは1901年、ライト兄弟による人類が初めて飛行機でと

んだのは1903年です。

この頃は経済恐慌で人心はすさんでいました。中でもシカゴは、「悪徳と腐敗の街」というレッテルをはられていました。この状態を憂いた青年弁護士ポール・ハリスが、鉦山技師ガスターバス・ローア、仕立屋ハイラム・ショーレー、石炭商シルベスター・シールと4人で会合を開いたのが、1905年2月23日でした。

「他人への思いやり、世界のためにつくそう」を基本としたロータリーの奉仕の心は、世界中の人々に支持され、人種、宗教、国境を越えて、現在では164ヶ国、23,906クラブ、会員数106万人以上に達し、大きな発展を遂げております。

**幹事報告** 長谷川幹事

◦例会変更のお知らせ

燕RC 3月30日(木)——夜の親睦例会

◦沼田ロータリークラブより 創立30周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 5月19日(金)PM13:00~ ところ 春日殿(沼田市)

◦吉野ガバナーノミニーより ロータリー財団奨学生募集日程のご連絡

※クラブの申請書受理最終期日 1989年5月10日

※ガバナー受理最終期日 1989年6月1日

(詳しい募集要項は、ガバナー月信No.9に掲載になります)

◦三条ライオンズクラブより

チャーターナイト満30周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 5月7日(日)AM12:00~

ところ 三条中央公民館、三条市厚生福祉会館

◦社倫理研究所三条市準倫理法人会より 経営倫理講演会のご案内

とき 3月15日(水)17:30~20:30 ところ ビップ玉姫殿

「儲かる経営の秘訣」……経営インストラクター 今井寅吉氏

「新経営道」……社倫理研究所総務部長 船原弘光氏

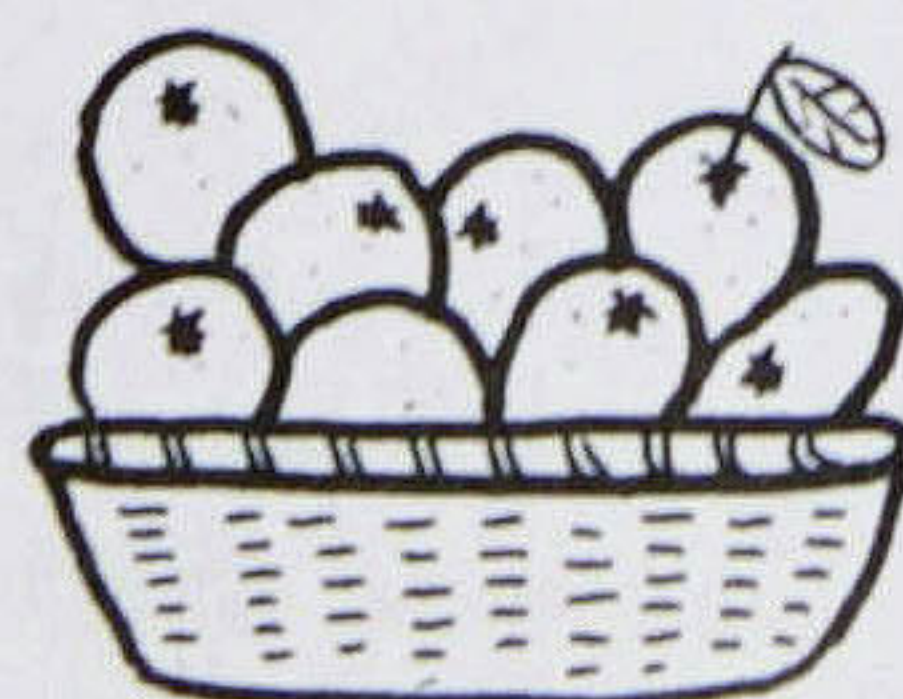
**新入会員紹介** 轡田秋夫君

㈱日本旅行燕三条支店

昭和24年10月19日生

家族構成：妻

趣味：ゴルフ



ニコニコボックス ¥9,000

- 外山(雅)君 小生の今後の生き方に大変参考になる本にめぐり会いましたので。
- 石橋君 早退させていただきます。すみません。
- 長谷川(有)君 轡田支店長様の入会を歓迎して。
- 荻根沢君 卓話が終わってホットしました。有難うございました。新入会員で次に卓話をやられる方ガンバッテ。
- 佐藤(信)君 水曜日は週の間で出かける日が多く、欠席がちで事務局には大変御迷惑をかけております。
- 平原(信)君 轡田君の入会を歓迎して。
- 川又君 卓話御苦勞様です。鈴木会員の卓話楽しみにしています。
- 広瀬君 都合で早退させていただきます。
- 五十嵐(力)君 久しぶりに出席しました。

**卓話**

鈴木宗資会員

昨年11月、貿易振興会員の1人として高橋団長のお供をして印度を訪問した。川又さんの卓話もあった筈だから話がダブルない様にして話を進めたい。

印度は他の東南アジアの国々と違って馴染みが少ない。従って反日感情も親日感情も見受けられない。日本人、印度人はお互いに無縁の存在である。日本人の常識としては印度は暑い国、お釈迦様の生まれた国、象の住む黒人の国と云う位にしか分っていない。印度の言葉に「印度を知りたければ田舎へ行け」又「印度の旅には時計をはずせ」と云うのがある。

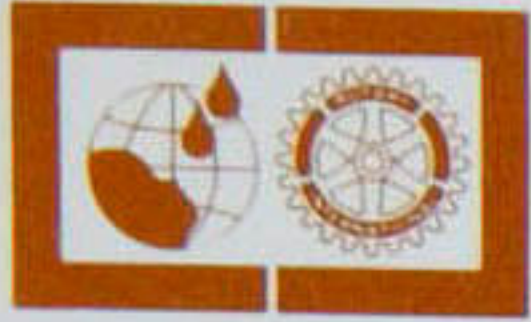
真赤な太陽が島の彼方から昇り、西の島に沈む、あの大平原を見ると、自然と共に生きる印度農民の人生観が分る様な気がする。此の国は大部分がヒンズー教徒であり、15%位がエスラム教徒である。共に強烈な宗教信者である。

ヒンズーの教えは無常観から生まれている様である。来世や前世を信じ、現代は貧しい儘、のんびり暮らすのが彼等の信条の様である。現世の貧困は来世の富裕につながると云う信念が強烈であり、現世ではリッチの暮らしは好まない。凡てがシュバ神(破壊と創造の神)と思召の儘と考えている様である。

従って堤防も造らないし、灌漑用水の池も造らず凡て自然の成り行きにまかせている。

牛は聖なる動物とされ、人間以上に大切にされている。ヒンズー教には牛肉を食べる習慣はない。牛の糞は凡て乾燥されて燃料となる。農家は薪炭、石油、ガス等は使用せず、





牛糞のみを燃料としている。牛、羊、犬等も自然の一部と考え、一般農民はこれ等の動物と寝起きを共にしている。

農村人口70%、都市の人口30%の国である。一通りの工業製品は自給自足を目指して生産されている。1,632の大企業が統制下にあり、お互いに競争しない仕組みになっている。外国からの製品は殆んど輸入禁止なので、前年と同じ物を同じ丈作って居れば過不足なく売れる制度になって居るので、安泰な商売が出来る訳である。

市場へ行くと印度人の必要な物は一応取り揃っているが、新製品らしいものは無い。今以てプラスチック製品は無くブリキで作った馬穴が売られている。台ばかりは無く棒ばかりで目方を計っている。製品の進歩が無いので、東南アジアの国へも製品輸出は殆んどない。凡ゆる物資が不足しているソ連に丈は輸出出来ると云うことであった。

日本等先進国に売れるものは鉄鉱石、紅茶、香辛料、印度ルビー、象牙、海から採れるエビ等、第一次産品ばかりである。

輸入品はハイテク商品、優秀工作機械（自国では旧型工作機械しか出来ない）、石油、食糧油等附加価値の高いものばかりである。これでは貧乏するのが当たり前である。貿易赤字は年間50億ドルで、外国への出稼ぎで赤字を一部補填している。累積赤字は増えるばかりである。

此の国は武力を以て外国へ侵略した事がない。侵略された歴史ばかりが残っている。オリンピックでも6位以上に入賞した事が無いと云う。過去2000年間中近東の国から侵略され、侵略者が定着すると其の人達を同化、吸収して印度と云う大国が出来上って来た。

16世紀にエスラム人が大挙進入してムガル王朝が出来た。現在の観光のメッカである宮殿皇宮等はムガル王朝の歴代の遺作である。アグラ市にある大理石作りのタージマハールも其の一つである。同じ16世紀にポルトガル人に依る海路からの進攻が始まり、17世紀以降イギリス軍に依り港港の要地を占領され、19世紀中頃イギリス領土となり、1947年独立を果たした。

16～17世紀にはヨーロッパ各国の東洋侵略が繰り返されスペインは→フィリピン、オランダは→インドネシア、フランスは→ベトナム、英国はパキスタン、印度、ビルマ、マレー半島、シンガポール、香港等広く東洋各地を占領した。ポルトガルはマカオ占領後日本の種子島に鉄砲をもたらした。

16世紀は日本でも大変革の時代であり、信長、秀吉、千の利休も16世紀の人で戦国末期の動乱時代であった。南北アメリカ大陸も此の世紀にヨーロッパ各人に依り占領平定されている。16世紀は全世界中が戦争に明け暮れた大動乱の時機であった。印度経済は近代化が遅れ、印度人の怠惰的人生観により、当分現状の儘推移するものと思われる。

---

次 週 例 会      3月1日      卓話   山浦日出夫会員、金沢興宗会員

---

次々週例会      3月8日      卓話   「最近の経済情勢」大谷幸平会員

---